

参考資料1

令和7年度久喜市青少年問題協議会 協議のまとめ（情報提供）

令和7年度久喜市青少年問題協議会において、第1回では「児童のいじめ」、第2回では「SNSによる被害・トラブル」について協議を行いました。委員みなさまのそれぞれの立場から、協議した内容の他に事例の紹介やご意見をいただきましたので、情報提供いたします。

児童のいじめについて

	事例・ご意見
1	学校で行われるいじめでは、被害児童には発信力が備わっていない
2	いじめについての取扱い方が学校と警察とで異なる
3	自分一人で考えたらいけないことだとわかっている、複数人であると、ノリや集団心理などが働いてしまい、いじめに発展してしまう
4	殴る蹴るなどの身体的なもの、物を買わせたり盗ませるなどを強要するもの、他には無視や仲間外れなどがある
5	発達障害の子が多くなってきており、問題を起こした際にいじめといえるのか
6	加害児童の指導は難しい
7	4、5人集まると問題が起こる可能性が増える
8	加害児童は家族との会話が少ないケースが多い
9	大人に対してと同級生に対してで態度や行動を使い分けている子もいる
10	ゲームの感覚が、現実の行動にも同調してしまっている

SNSによる被害・トラブル

	事例・ご意見
1	児童買春、児童ポルノ等の福祉犯罪は約90% SNSに起因する
2	SNS、携帯電話の使い方についての相談・事件が非常に増加している
3	SNSに起因する誘拐
4	チケット詐欺等の犯罪が低年齢化している
5	フィルタリング等携帯の機能を制限する
6	家庭内で利用制限を設ける
7	こどもだけではなく、親も勉強する必要がある

関心のある事例、キーワード等

…虐待（特に通告の定義）、不登校、地域差、こどもへの接し方、いじめ対策